

## 九州新幹線の事業促進を求める特別決議

新幹線は、高速交通基盤の要であり、国土の均衡ある発展の基礎となるとともに、環境にやさしく、安全でエネルギー効率に優れた大量輸送交通機関である。同時に、地域の総合交通体系の中心として、地域住民の生活や地域経済を支え、交流人口の拡大という重要な役割を果たすことが求められている。

現在の九州新幹線の進捗状況は、鹿児島ルートでは平成23年春の全線開業に向けて鋭意工事が進められ、沿線の自治体においても駅周辺整備事業を核として、新しい「まちづくり」が進められている。

一方、西九州ルートにおいては、平成20年3月の武雄温泉～諫早間の認可・着工以来、概ね10年後の開業に向け、現在トンネル工事や各種測量等に着手しており、沿線自治体においては、他のプロジェクトとも連携した「駅づくり」や「まちづくり」の取り組みを進めている。

その中で、今般の概算要求において、新規着工区間の調査費が見送られたことなどにより、地元においては、今後の事業見通しについて不安が広がっている。

については、九州新幹線ネットワークの早期完成によって、九州全体の現在の厳しい経済状況からの浮揚を図る観点から、九州新幹線両ルートの建設に対する財源の確保を図っていただくよう強く要望する。